



日本聖公会
大阪教区教務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
教務局長 司祭 原田光雄

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 office.osaka@nsk.org

第423号 2012年2月19日発行

遡ること四半世紀、聖ガブリエル教会（管理牧師・木川田一郎主教Ⅱ当時）は、誕生の地、生野区を離れ、信徒家族の協力によりビルの一室の提供を受け、浪速区元町（難波の一面）にあった。その後、当初からの希望が叶い、20年前、再び生野の地に帰って、現在の教会に至る。初代の牧師は故・張本栄司祭。同司祭が自宅を開放されて始まった教会は、朝鮮半島出身の在日

を遡ること四半世紀、聖ガブリエル教会（管理牧師・木川田一郎主教Ⅱ当時）は、誕生の地、生野区を離れ、信徒家族の協力によりビルの一室の提供を受け、浪速区元町（難波の一面）にあった。その後、当初からの希望が叶い、20年前、再び生野の地に帰って、現在の教会に至る。初代の牧師は故・張本栄司祭。同司祭が自宅を開放されて始まった教会は、朝鮮半島出身の在日



司祭 ヨシユア 原田 光雄

今年、大齋節に思うこと

〜四半世紀前がよみがえる〜

ていた。

一方、当教区は、いくつかの教区会決議を含め、言わば総力を挙げて、「在日」に関する宣教協働を教区の働きの機軸の一つとして明確に据え、他教区や日本聖公会全体、そして、大韓聖公会、さらに生野地域の他教派諸教会等に協力を呼びかけた。

再び生野へとの聖ガブリエル教会の新たな歩みに、この時点より直接に、文字どお

ける「教会間協働」の貴重な経験を共有したと言える。

こうして「ガブリエル」は、張さん宅で「生野子ども会」を継続し、「城南」も加わる生野地域活動協議会などを通して、地域、とりわけ他教派諸教会とのつながりを深めていった。「城南」との協働により、「ガブリエル」は、めざす地、生野のすぐ近くにあつて、その地に帰る準備をいっそう着々と進めることができたに違いない。

「城南」もまた、「ガブリエル」とともに歩むことで多くの気づきを得たのではないか。

だ。出勤や通学など、それぞれの始業前。寒さに震える体は温まり、すでに闇は去って陽は登り、明るさは増していく。少人数なればこそ、短時間ながら、静かに語り合う言葉も心に沁みて、その豊かさを増す。

当時、私は聖ガブリエル教会に勤務する伝道師。その頃の大齋節の日々とともに、いろいろお世話になった小川先生の笑顔が浮かんで、懐かしさが増幅される。みもとに召されてちょうど10年（1月12日ご逝去／享年満54歳）。心新たに記念して、その魂の平安を祈りつつ、これからも主にある聖徒の交わりを楽しみたい。

相当な年月を経、一般社会でも、教会においても、時間の流れは速さをどんどん増しているように思えてならない。今年、イースターを待ち望みつつ、この世にありながらも時間を超え、大齋節の香りをじっくり味わう日々を送りたい。

の人たちと日本人とが、相互に分かちがたい歴史を背負いながら共に生きる（共に生きるべき）必然を帯びて、生野の地に生まれた。この地を離れていたしばらくの間に、当初からの希望、再び生野の地に戻り、教会を建設する！との思いは熟した。その際、今日の聖公会生野センターに結実しているように、生野における地域活動の場を伴う教会建設の構想が、すでに生まれ

り隣人として手を差し伸べたのは、生野区に隣接する天王寺区にあって、その境界線、JR環状線沿いに位置する大阪城南キリスト教会（牧師・故・小川博司司祭）であった。両教会は、主日礼拝や大齋節の早朝聖餐式などの公禱のみならず、聖書に学ぶ集い、イースターやクリスマスなどの礼拝・祝会、夏のキャンプなど、多くの場を共にした。今日、頻繁に唱えられる、地域にお

大齋節を迎える季節、両教会がいつしよに行っていた早朝聖餐式の香りが、懐かしくよみがえってくる。その年の教会暦にもよるが、この時節、身にしみえる寒さの中、目覚めるときまだ闇に沈んでいた風景が、徐々に姿を現わす。聖餐式のさ中、外がどんどん白み始める。礼拝後、小川司祭宅が用意してくださったメニューに、だれかが持ち寄った幾品かを加え、朝食をいた

（はらたみつお・大阪聖三一教会牧師、聖ルカ教会管理牧師）

芦屋聖マルコ教会

100周年記念礼拝

司祭 施洗者ヨハネ 山本 眞



2012年1月14日(土)、芦屋聖マルコ教会創立100周年・愛光幼稚園創立90周年記念感謝礼拝が執り行われました。ちょうど100年前の1912年1月14日は日曜日でした。名古屋にあった聖使女学院が芦屋の地に移転すべく前年の秋から建設が進められていたのですが、この日に

初めての主日礼拝が新築なった聖使女学院の礼拝堂で守られたのです。今も、芦屋聖マルコ教会で主日早朝聖餐式に使われているチャリスとパテンは、この日のために当時の聖使女学院校長ウイン・ウィルソン女史がその父上の記念として奉獻されたものです。それから100年、10年遅れて開設された愛光幼稚園とともに、この芦屋の地に福音の光を輝かせてきました。幸い「ものすごい寒波」に襲われることもなく、記念感謝礼拝(聖餐式)は、大西修大阪教区主教の司式、植松誠首座主教の説教、聖マルコ教会にゆかりの深い聖職の補式により午前10時に始まりました。礼拝堂には補助椅子を入れて約280人が、そして聖使館でモニターでの礼拝参加が75人、およそ350人ほどの出席でした。礼拝に奉仕した聖職は大西



説教壇に立たれる植松誠首座主教

野徹主教、植松誠首座主教、宇野徹主教、岩城聰司祭(大阪教区常置委員長)、原田光雄司祭(大阪教区教務局長)、小池虔二司祭(元牧師・当教会出身)、山根貞夫司祭(元牧師・当教会出身)、奥康功司祭(元牧師)、木村幸夫司祭(元牧師・当教会出身)、松山龍二司祭(元当教会勤務)、齊藤壹司祭(当教会出身)、竹林徑二司祭(元当教会勤務・当教会出身)、山野上素充司祭(当教会出身)、井上進次司祭(当教会出身)、田宮紘執事(当教会勤務)と山本眞司祭、信徒奉事者として長野紀子さんと和田育子さん、サーバーは佐治義人さんと木山雄一郎さん、十字架奉持は野見山暁さん、トーチは



愛光幼稚園児によるお祝いメッセージ

八木賢志さんと野見山友里さん、旧約聖書朗読は門脇菜穂さん、使徒書朗読は小池宣郎さん、奏楽は朽木満里子さん、そして木山由美さんの指揮する聖歌隊の皆さんでした。もちろん受付、会場案内、奉獻聖卓奉仕などに、ここに名前が挙げられていない多くの人の祈りがありました。また宗像和雄伝道師(退職、当教会出身)も会衆席で礼拝に参加してくださいました。

芦屋の他教派の教会、幼稚園、町内会から、そして愛光幼稚園の園児と保護者達、元教職員も遠くから駆けつけてくださいました。これらの方々の紹介を終え、大西主教からの祝辞とCMSのフォー

ブス氏からのメッセージ、そして、CMSへのマルコ教会からの感謝の献金贈呈があり、礼拝を終えました。

お祝いの会は近くの芦屋市民会館4階で午後1時から、小池義郎さんの司会で始められ、2時15分には山本司祭による感謝の言葉のあと、一同主の祈りを唱え大西主教の祝福をもって中締めとしました。礼拝での信施金は225,755円で、東日本大震災救援のために献げられました。

この日のために100年誌委員会が6年がかりで編纂した「羊群百年 ハレルヤ主とともに行きましよう」(題字は故マルコ小池俊男主教)が完成し、列席者に記念の祈禱書カバー(バンングラデシユ製)とともにプレゼントされました。

教区を挙げて多くの方々がご出席くださり、お祝いくださいましたこと、芦屋聖マルコ教会一同、心より感謝申し上げます。

(やまもと まこと・芦屋聖マルコ教会牧師、愛光幼稚園園長・理事長)

主と共にあゆむ 18

信徒の役割

ペテロ 佐藤 耕一

2006年の初夏の頃でした。当時のマルコ教会の牧師から、「いい原書があるからみんなで訳してみたら」という話があったのが、今回の翻

訳本出版のきっかけです。アルファコースの英文のテキストなどを和訳していた翻訳の会のメンバー5人全員が、とにかくやってみようという気

になりました。それ以来、全員が交代で担当する、月に1〜2回の例会で細部まで意見交換する、というやり方です。と続けてきました。途中で、

前任監修者の1年間の海外留学や辞任・交代などもありました。

『教会の働きと宣教』は、英国聖公会司祭ポール・エイヴィス師の著作 [A Ministry Shaped By Mission] の日本語版です。教会の宣教や牧会活動、そして聖職者との関わり、信徒の役割、などについて詳しく論じています。翻訳の会のメンバーは英語が苦手ではないはずなのに、文化の違いや宗教的な文言とか教

義には戸惑いました。また、日本語に訳すことの難しさを思い知らされました。後任の監修者が与えられて、明解なご指導のもとに突貫でまとめ上げ、ようやく2011年末に刊行することができました。主と共に歩むことを実感した、とても恵まれた6年間でした。深く感謝しています。この本の主要なテーマの一つは信徒の役割ですが、この翻訳はそのささやかな予行演習といえるかもしれません。(さとう こういち・芦屋聖マルコ教会信徒)



人事異動

教区において3月は教役者の人事異動の時です。定年退職を迎える教役者の後任人事、新たに牧会生活を始める聖職候補生を含め、教区全体の宣教的視点から考えられた人事異動が行われます。その人事に関する最終責任者は教区主教です。

教役者は主の御用のためなら、遣わされるところがどこであっても、いつでも喜んで赴任していく覚悟が必要であります。とは言え、愛する教会、主にある親しい交わりをもつ信徒と別れることはつらいものがあります。信徒もまた同様です。特に信仰への導きを受けた信頼する教役者に対しては、今後もずっと自分の所属する教会の牧師でいてほし

いと願う気持ちは、とてもよくわかります。けれども、教役者の働きは一つの教会にとどまりません。「人の子には枕するところがない」と言われた主イエスの言葉を思い起こしながら、必要とされるところへ赴任して行きます。教会は教役者によってまかれた種を大切にし、新たに遣わされる教役者と共に、主が更なる成長と実りをもたらしてくださることを信じ、希望をもって進んで行きます。教役者は信徒に主イエス、

キリストを指し示し、信徒は指し示された主を仰ぎ見つつ、与えられた場(自分の所属する教会と生活の場)において自立した信徒として信仰生活を送っていくのです。教会は常にこの世の最前線に立って、恐れず主を証ししていきます。なぜなら、主が共にいてくださることを信じているからです。(主教サムエル大西 修)

大阪教区
「東日本大震災第1次救援募金」
 (募集期間：2012年3月31日まで)
38,606,782円 (1月31日現在)
 (目標：50,000,000円)
 *各教会で祈りとともに献げられた、大阪教区の献金総額は上記の通りです。

オルガン演奏と詩篇朗読で 阪神・淡路大震災17周年 追悼のつどい

エリザベツ 富谷 敏子

阪神・淡路大震災から17年の1月17日に、今年も西宮聖ペテロ教会では17周年「追悼のつどい」が催されました。今年のつどいのテーマは「希望」で、阪神・淡路大震災そして去年起こった東日本大震災の多くの犠牲者の方々の鎮魂をあわせた追悼となりました。

西宮聖ペテロ教会の信徒らが心より悼みの思いを込めてパイプオルガン演奏と朗読をしました。私も朗読でその一員に加わりました。

午後7時、静寂のなか鐘の音で始まり、明かりが半分におとされた聖堂にオルガンの演奏が響きます。それに続き詩篇の朗読に移りますが、最初に声を出す瞬間は緊張でした。参加者56人はほとんどが信徒の方だったようですが、本当に静かに演奏と朗読が交互に続きました。大西修主教のメッセージは重く心に残る

歌482番を歌い、終わりに大西修主教の阪神・淡路大震災犠牲者のための祈禱と、祝禱をいただき、全員心静かに犠牲者のために祈りいたしました。追悼のつどいは厳粛のうちに終わりました。(とみたに としこ・西宮聖ペテロ教会信徒)

教区婦人会 被献日礼拝

木村司祭「本気の信仰」訴え

2月2日(木)、大阪教区婦人会は大阪聖アンデレ教会において被献日礼拝をまもりました。

被献日は御子イエス様が神殿に献げられたことを賛美し記念する日です。そして日本聖公会婦人会の創立記念日です。



グレース 梶本 清子

もありません。当日の説教者は木村幸夫司祭様。そのお説教の中で初めて被献日の説明をして下さいました。

「最初のもものは神様にお献げする。また一番大事な物を献げることによっていきいきとした人生を生きることができるとされ、貧しいイエスの両親は山鳩2羽と家鳩2羽を献げられた。」

昔の婦人献身者は、被献日献金が無ければ何もできなかった。彼女らはその貧しさの中で喜びをもってイエス様自身を献げておられた。貧しい両親に抱かれたイエスを見た時、シメオンは何の飾りもない幼子の中に目に見えない真実を見たのではないだろうか。

をすれば良いでしょうか?と私たちに問いかけられました。この日の信施は被献日献金として献げられ、申請により、会員、教役者、神学生、教会に連なる人々の学びの為に用いられます。当日の出席者は170人(内教役者8人、男性信徒12人)でした。

礼拝後、会場を会館に移し、バザーで買い物をしたり、聖アンデレ教会婦人会の人達の心のこもった手作りのケーキと熱いお茶を頂きながらしばらくのひとときを過ごし、雪がちらちら舞う中、家路につきました。(つきもと きよこ・大阪聖三一教会信徒)

東日本大震災を経て多くの人が「絆」とか「愛」に気づきはじめています。日本人口のわずか1%の私たちクリスチャンが本気になって本心に立ち返り、目に見えない物の中に本当の物があると気づいて立ち上がれば社会を変えていけるのではないのでしょうか。その為に私たち一人一人は何

2012年度 教会奉仕者のための学び ウイリアムス神学館出張講座 (第Ⅲ期)

- ◇開講科目と講師
(4月14日・28日開講：年間10回)
「旧約聖書入門」(第2土曜日)
勝村 弘也 教授
(神戸松蔭女子学院大学教授)
- 「日本キリスト教史」(第4土曜日)
大塚 勝 司祭
(京都教区司祭・ウイリアムス神学館教授)
- * 2教科の受講が望ましいですが、1教科ごとの受講も可能です。
- ◇会場：大阪聖パウロ教会
- ◇時間：2：00～3：30
* 授業日時は上記が原則ですが、変更場合があります。
- ◇費用：1科目：10,000円 2科目：20,000円
- ◇主催：大阪教区生涯学習委員会、ウイリアムス神学館



京都教区との協働を目指して 聖職と教会紹介 ⑨

司祭 パウロ 北山 和民

田辺聖公会は昭和31年から「シオン幼稚園」を開設して、以来移築移転（昭和54年）を経て56年間、幼稚園による教会形成、宣教の道を歩んできました。しかし教勢は振るわず、平日平均出席10人で、子どもの教会もありません。

車で15分ほどの近隣に、神愛修女会による老人福祉施設



「愛の園」、「深和ホーム」があり、毎月第4日曜の主日礼拝は「愛の園シオン会礼拝」をしています。

大阪教区はこの「愛の園・神愛修女会」とのご縁が深く、教育プログラムなどでは京都より古くから交流があります。「宣教のマンネリ、無関心な役員、凍りついた礼拝」の循環を断ち切るのにはこういった情報交流だと改めて感じています。

教区間の協働、さらに各教会の「チーム・ミニストリー」への発想の転換は今や避けられない課題、教会の存続の問題です。教会の大小、諸事情を越えて、教役者も信徒も「グローバルに考え、ローカルに動く」発想、責任感が求められています。これは一般に考えられている

ような「視野をひろく」ではなく、「人間とはミクロ・コスモス（宇宙）」という哲学

新宮聖公会は京都発の特急で大阪教区を通り過ぎ、4時間半の終点駅から徒歩5分です。それでも去年の水害では合計23人の兄弟姉妹が駆けつけて下さり、信徒と保護者そ



なので。わたしは「この教会の特別な事情の中に、全ての教会に通じる『恵み』がある。すべて修行と思えば感謝して働こう」と考えることにしています。

と思っています。「合併」はマネジメントですから、（嫌われ者を）引き受ける覚悟のあるリーダーがまず必要だと思います。

（きたやま かずたみ・田辺 聖公会牧師、新宮聖公会管理牧師、愛の園シオン会礼拝堂管理牧師）

執事 ヨハネ 荒木 太一

して熊野川地区への支援活動ができました。大阪からも義援金を頂き、教区つながりによって、被災した信徒・保護者に気持ちを配り、祈り、慰めあうことができました。ありがとうございます。

新宮聖公会は1939年に熊谷直俊という医師を中心に開かれました。初代牧師は名出武司祭でした。終戦後1959年に現在の聖堂兼牧師館が完成しました。1971年にはマリア保育園を併設し、街の子たちへ神を伝え、母親を支援してきました。現在は受聖餐者20人、園児は103人です。

月1度の「みことばのわか

ちあい」では信徒がいろんな思いや信仰を話して分かち合います。第3日曜日は「このものきょうかい」では、主日礼拝を大人と子どもとが一緒にします。保育園の先生も「出勤」して奏楽をし、卒園児を迎えてくれます。いつもは3〜4人ですが、クリスマスやイースターには30〜40人が集まります。日曜学校をするだけの体力はないけれど、毎月1度みんなで取り組む現実的な宣教活動です。

「教区間協働」といってもやはり中心は各教会地域（パリスシュ）での活動にあつて、そのための教区合併または主教座聖堂の霊的存在が大切だと私は思います。

（あらき たいち・新宮聖公会牧師補）

公 示

救主降生 2011 年 12 月 15 日
日本聖公会大阪教区主教
主教 サムエル 大西 修

以下の人事を発令します。

司祭 フランシス チョウ・ジョンピル

2011 年 12 月 31 日をもって休養を解く。

2012 年 1 月 1 日より、恵我之荘聖マタイ教会牧師として復帰することを命ずる。

サムエル 主教 大西 修 2011 年 12 月 31 日をもって、恵我之荘聖マタイ教会管理牧師の任を解く。

救主降生 2012 年 1 月 1 日
日本聖公会大阪教区主教
主教 サムエル 大西 修

以下の人事を発令します。

司祭 モーセ 任 大彬 主教座聖堂付の任を解き、カナダ聖公会ニューウエストミンスター (New Westminster) 教区バンクーバー・ホーリークロス教会 (Holy Cross Japanese Canadian Church, Vancouver) への出向を許可する。

救主降生 2012 年 2 月 2 日
日本聖公会大阪教区主教
主教 サムエル 大西 修

救主降生 2012 年 3 月 31 日付で、以下の人事を発令します。

司祭 ウィリアムス 竹内信義 定年により、退職とする。

司祭 ヨハネ 木村幸夫 定年により、退職とする。

救主降生 2012 年 4 月 1 日付で、以下の人事を発令します。

司祭 テモテ 内田 望 川口基督教会牧師、大阪聖パウロ教会管理牧師の任を解き、堺聖テモテ教会牧師、聖ルシヤ教会管理牧師、要請に基づきプール学院チャプレン (大学勤務) に任命する。

司祭 ペテロ 岩城 聡 堺聖テモテ教会牧師、聖ルシヤ教会管理牧師、プール学院チャプレン (大学勤務) の任を解き、川口基督教会牧師、大阪聖パウロ教会管理牧師に任命する。

司祭 ペテロ 齊藤 壹 大阪城南キリスト教会牧師、聖ガブリエル教会牧師の任を解き、大阪聖愛教会牧師、大阪聖三一教会牧師、博愛社チャプレンに任命する。

司祭 ヨシュア 原田光雄 大阪聖三一教会牧師の任を解き、大阪城南キリスト教会牧師、聖ガブリエル教会牧師に任命する。

司祭 アンデレ 磯 晴久 高槻聖マリヤ教会管理牧師の任を解き、東豊中聖ミカエル教会管理牧師、庄内キリスト教会管理牧師に任命する。

聖職候補生 ヤコブ 義平雅夫 司祭 アンデレ 磯晴久のもと、東豊中聖ミカエル教会勤務を命じ、聖ミカエル保育園園長に任命する。

主教 サムエル 大西 修 高槻聖マリヤ教会管理牧師、富田林聖アグネス教会管理牧師に任命する。

公 示

日本聖公会大阪教区第107（臨時）教区会を、下記のように招集します。

救主降生2012年2月2日
日本聖公会大阪教区
教区会議長 主教 サムエル 大西 修

記

- ◆会 期 2012年3月18日（日）午後2時から3時30分まで
- ◆議 場 日本聖公会大阪教区主教座聖堂（川口基督教会）会館
大阪市西区川口1丁目3番8号
- ◆議 題 (1) 2011年度日本聖公会大阪教区一般会計決算（案）承認の件
(2) 2011年度日本聖公会大阪教区一般会計 余剰金／不足金 処理（案）承認の件
なお、上記教区会の書記および会計を下記のように指名します。

書 記	司 祭	パウロ	井上 進次
	聖職候補生	クリストファー	奥村 貴充
会 計	司 祭	ヨシュア	原田 光雄
		ペテロ	米虫 克次

「臨時教区会」と「宣教懇談会」について

- *この教区会は、法規第106条第2項に基づいて招集される臨時教区会ですが、基本的には前年度の教区一般会計決算について、より適正な時期に審議し採決することを目的としており、2006年から毎年開催されていて、実質的には定例化しています。
- *今回も例年に倣い、教区会に引き続き、議員・代議員による「宣教懇談会」が開催されます。懇談会の内容に関しては、後日、ご案内いたします。

大阪教区「聖週」の礼拝予定

於：大阪教区主教座聖堂（川口基督教会）

○聖木曜日

4月5日（木）午前11時

司祭接手の更新と聖油聖別の聖餐式

司式・説教 サムエル 大西 修 主教

※ 信徒の方もご参列ください。

○聖金曜日

4月6日（金）午後1時

大阪教区聖金曜日（受苦日）礼拝

（主の御苦しみの黙想と陪餐）

司式・説教 サムエル 大西 修 主教

4月6日（金）午後6時30分

大阪教区聖金曜日（受苦日）礼拝

司 式 サムエル 大西 修 主教

説 教 アンデレ 磯 晴久 司祭

祈りと賛美

東日本大震災を覚えて

東日本大震災 1周年記念聖餐式を下記のように行います。多くの人々と心を合わせて祈り、被災された方々のことを覚え、賛美に耳を傾けたいと思いますので、多数お集まりください。

日時：3月10日（土）14:00～15:30

場所：川口基督教会

司式：大阪教区主教 サムエル 大西 修 師父

説教：神戸教区主教 アンデレ 中村 豊 師父

賛美：ルツ 濱崎 高子

主催：大阪教区宣教部礼拝音楽委員会
後援：教区婦人会・教区連合男子会



ケセン語訳聖書の 誕生地を訪ねて

司祭 ペテロ 竹林 徑一



訳出者の山浦玄嗣先生

毎年、桃山学院中学校・高校では、宗教教育委員会の企画で「宗教講演会」等のプログラムを実施している。2011年度は、岩手県大船渡市で医師をされ、カトリック信徒であり、また「ケセン語訳聖書(福音書)」の訳出者でもある山浦玄嗣先生に、昨秋11月中旬来阪・来校いただき、高校生・教職員に講演をお願いした。

「命」というのは元気で活き活きしていないと、本当の意味にならないんだなあと思った。生きているだけで命があると思っただけで、それは違って、自殺する

などもつてのほかだ!と思つた。闇」というのは自分のことにはしか関心がなく、まわりを見ないことが本当の意味。それを知つたからには、物事と前向きに向き合おうと思つた。今まで聖書をちゃんと読めなかつたけど、一つひとつの言葉に意味があるって分かつたから、ちゃんと考えて読もうと思つた。」(高校2年生女子)

終了後、全高校生約1800人に「まとめ・感想」を提出してもらつた。近來まれに見るその記述量の多さと内容の濃さが、山浦先生の仕事と人柄そして津波経験の語りから、彼らがいかにものすごいインパクトを受けたかを物語っている。教員や教会関係者からも好評で、出版されたばかりの聖書「ガラヤのイエシュ」は、すぐに40部が売り切れた。



ガラヤのイエシュ
日本語訳新約聖書四福音書
イー・ピックス出版
2,520円
TEL.0192-26-3334

つた。がれきは大半取り除かれていたが、師走の町に人があふれ、無事に、被災地を実感

私も以前は、おもしろい仕事をする人がいるなという程度にしか、見ていなかった。しかし、大津波の泥をかぶつた朗読CD付きの「ケセン語訳福音書」の話を聞いたとき、会つてみたいという招きのようなものを感じて実現した次第である。

した。逆に、石巻近郊に最近オープンした巨大モールのざわめきと物量、仙台市街の繁栄や雑踏等とのギャップに大きな戸惑いを感じた。阪神大震災の時に、神戸・西宮と大阪で感じた違いに近いかもしれない。

しかし、東北関連の情報や、「いっしょに歩こうプロジェクト」の様子を聞きながらも、自分が現地へ行く時間・機会が作れずに年末に至つた。12月24日午前に1800人の高校生クリスマス礼拝を、そして教会の礼拝・諸行事をなんとかこなして、27日朝の飛行機で仙台へ飛んで行つた。東北には土地勘がなく、右も左も分からないままである。

仙台の聖クリストファ幼稚園も補修後、1カ月遅れの5月に再開したが、当分は子供も落ち着かず、子供礼拝が本来の状態になつたのは12月に入ってからと聞いて、立ち直つていくには時間が必要なことを改めて思つた。

神学院の同級、影山博美司祭の案内で、閑上地区、荒浜、仙台新港、塩竈を経て、松島から石巻までを一日で見て回

28日午後の大船渡行きの高速バスに乗車、都会からの帰省客が圧倒的で積み残しが出た。行けども行けども山間部で東北の広さを実感、夕暮れの気仙沼を通過する時、写真で見た大きな漁船が道路脇に、まさに今も居座っていた。その次の陸前高田の旧市街地は

真つ暗闇で、無人地帯になつているという事実には衝撃を受けた。
4、5時間かけて大船渡に到着、最近営業再開の小ホテル(2軒だけ)に転がり込んで、2泊した。工事関係者の長期滞在で詰まっている。周り一面真つ暗、「大船渡の駅も線路も全部流されちゃってねえ」とタクシーでの話に、聞きしに勝る所に来たと思いがした。わずかのコンビニ以外は食堂もなく、かなり歩いた後、プレハブ造りの仮設屋台村を見つけて食事にあつた。「商売できるだけでもありがたい」という店主の言葉に、これからだという意気込みがこもっていた。
山浦先生に電話を入れると、診療の合間の1時半から1時間だけなら会えるとのこと、午前中は地図をたよりに町を歩いた。カトリック教会と海の星幼稚園の立つ高台などわずかを除けば、中心市街地は一切合財を持っていかれた感じである。現地の本屋で買った「大船渡の大津波のDVD」を後で見ると、根こそぎ海に飲み込まれたのがよく分かる。

JR大船渡線が奪い流され、終点の盛駅だけが業務を続けていたのは異様だった。新幹線等の利用路線の切符販売や、旅行業務をするためらしい。ここで乗り換えて釜石方面に行く第3セクターの三陸鉄道は、復旧の可能性大であるが、繋ぎが切られて見通しが立たないとのことだった。

盛駅に程近い山浦医院の周辺は、一見普通の住宅地だが、医院の壁と駐車場の1層強の高さに、テープでここまで水が来たという印が付けられていた。応接間で、明治・大正の三陸地方が僻地で極貧の時代に、海外で大成功や失敗を重ねながら裸一貫の儲け・地域貢献をした豪傑事業家について情熱的に語ってくださいましたが、そのような傑出した人物が輩出してほしいとの願いが込められているように思った。

津波を免れた崖上に住む老男性は、家を失い転がり込んできた人々と1週間を過ごし食料が尽きた時に、小学生の後輩で手を焼いた人が思いもかけず米100kgを持ってきてくれて助かり、感激した話をしてくれた。「日頃をどう生きていたかが、いざという時に試されるなあ」としみじみの一言だった。街中では、住宅地の公園に7〜8世帯用の仮設住宅が、目立たぬようひっそりとしている姿が痛々しかった。被災した方と権災を免れた人との暮らし方・意識の落差が、今後どうなっていくのかも、地域全体の大きな課題であり、取り組み方が私たちにも問われている。

12月30日午前8:20の高速バスで帰仙の途についた。バス停近くの朝市を、待ち時間つぶしてひやかしながらぶらついた。おじさんおばさんのケセン語のやりとりを、生で聞いたのが一番の土産だと思いつつ乗車した。

(たけばやし けいいち・大阪聖アンデレ教会牧師、桃山学院中学・高等学校チャブレン)

世界の窓

◎テキサスからタンザニアへ…聖公会系病院のリンクの構築

2月末に、米国テキサス州の聖ルカ・エピスコパル・ヘルスシステム・ヒューストンとベ

イラー医科大学の医療チームがアフリカ聖公会モロゴロ教区(タンザニア)所属の病院を訪問する予定である。これは世界の聖公会系病院同士をリンクさせるための最初のステップである。このリンクの目的は、聖公会系病院同士での医療機器の提供、臨床研修や病院管理システムの開発などを視野に入れた共同体制の構築にある。聖公会系病院同士の関係を強化することが、聖公会の共通の宣教活動をサポートすることにつながることを期待している。

(Anglican Communion News Service: January 19, 2012)

◎ローマでの教会一致運動の働き

キリスト教一致祈祷週間と銘打ち、様々なキリスト教教派がローマに集い相互理解を深めた。この集会は、ローマ・セントロプロ・ユニオン・レイセントアで開催され、カトリック、聖公会、メソジストなどの教派が様々な儀式やプログラムを協働したものである。このような機会を通して、それぞれの宗派の伝統や共通した聖書理解や信仰的価値を理解し合い育て合うことがで

きると期待している。また、この会で語られた聖公会に与っての最も大きな課題は、今年5月に行われる予定の第2回目カトリック・聖公会協同会議 (ARCIC) である。そこで行われる両派の対話が、聖書理解や共通の伝統の再考につながり、これからの信頼関係構築の基礎となり得るのである。

(ACNS - Digest News: January 19, 2012)
(翻訳: 司祭 ヤコブ 松平 功)

大阪教区子ども礼拝
キッズフェスティバル 2012



「父は別の弁護者を遣わして、永遠にあなたがたと一緒にいるようにしてください。」

(ヨハネによる福音書14:16)

4月30日(月・祝) 10:00~15:00

会場: **川口基督教会**

主催: 大阪教区 宣教部生涯学習委員会
(委員長 司祭 アンデレ 磯 晴久)

問い合わせ/ 石橋聖トマス教会 TEL: 06-6854-8657
キッズフェスティバル実行委員会: 斎藤みち

申し込み/ 教区事務所 (FAX 06-6621-3097)

在日・日韓学習会シリーズ

「大震災下の在日外国人」を学ぶ

聖職候補生 クリストファー 奥村 貴充

「在日・日韓学習会シリーズ7」の講演会が1月22日(日)、大阪城南キリスト教会で行われ、40人近くの方々が出席、「東日本大震災の中で、在日韓国・朝鮮人、フィリピン人、ブラジル人はどうしていたか」などについて、講師の佐藤信行氏(RAIK・在日韓国人問題研究所所長)の講演に耳を傾けました。

震災に関して報じられるニュースの多くでは約7万5千人もおられる在日外国人のことにあまり触れられません。そういうわけで、こうした日本社会の構造の中で忘れられた課題は、大阪で暮らしていると目に見えにくいものになっています。この講演会では「在日外国人」という抽象的なことを語られるのではなく、具体的なケースを取り上げ、それぞれが直面している問題は多種多様であることに気づかされるとともに、行政

による支援が行き届いていないとの指摘により、在日外国人関連の政策が未整備であることを知らされました。さらに復興という話では、単に震災前の元に戻すということが復興ではない、不利な立場にある在日外国人の精神的な面でのサポートが必要とされているのだ、というお話

教 区 の 動 き

常置委員会報告

12月15日(第2回定例)

I. 主教報告

*「司祭ギデオン博士の遺族を支える基金委員会」報告
残金の内500万円を小川司祭ご遺族が「大阪教区神学生養成資金」に寄付すること

が印象的でした。その際、一方向からの働きかけではなく、様々な人や団体の双方の働きがなおいっそう必要とされ、またこれからも求められるのではないかと改めて思わ

されました。そして被災した東北はもとより日本という地にあつて、「在日外国人」ともにどう生きていくのか」という問いかけは、自分の中でまだまだ始まったばかりだと感じていきます。

(おくむら たかみつ・在日韓国・朝鮮人宣教協働委員)

に同意された(11/29)。12/1付けで実行した旨報告があった。
*成岡宏晃聖職候補生志願者は聖公会神学院の入学試験(2/8~10)を受ける。

*聖バルナバ病院が公益財団法人へ移行することに伴い、理事長選任について状況説明があり、大西主教の理事長継続について諮問された。理念

の継承も含めぜひ大西主教の継続を願うとの意見で常置委員一同が一致した。

II. 教務局長報告

*大阪教区「東日本大震災被災者救援募金」の進捗状況を各教会に確認する予定。

*2012年の行事予定の中、韓国研修ツアー「歴史に学ぶ・韓国文化にふれる」(3/23~3/26)は5月中旬以降に延期(期日未定)。

III. 協議事項

*書記の奥村聖職候補生によって朗読された第106(定期)教区会議事録を承認した。
*信徒奉事者、推挙の件 11教会より36人の推薦があり、全員を信徒奉事者として主教に推挙した。

- 芦屋聖マルコ教会(4人)
- グレース錦織依子 ヨハネ辻潤 マグダラのマリヤ長野紀子 アグネス和田育子
- 西宮聖ペテロ教会(4人)
- トマス岡田東一 ヨハネ久保孝彦 倉戸ナオミ ヨセフ瀬戸栄一
- 石橋聖トマス教会(4人)
- アンデレ服部喜代司 ユニケ

原楨寿子 眞理牧口眞理 オーガスチン山崎信
守口復活教会(2人)
ニコラス小野創 アロン原田契

契

大阪聖ヨハネ教会(3人)
テモテ興津健蔵 サムエル野知卓司 ヨハネ廣政博

大阪聖パウロ教会(2人)
サラ浅田通子 マルコ町中岳川口基督教会(7人)

ペテロ内海良輔 リベカ社領共美 アグネス高橋明子 リベカ田中史 カタリナ野上千春 ウイリアム・ユーン・ヒューム ウイリアムス横倉宏

大阪聖愛教会(4人)

ダニエル石井英隆 ペテロ米虫克次 グレース田中恵子 フランシス松岡興二

大阪聖アンデレ教会(3人)
アブラハム佐野重雄 テモテ高見澤毅 ソロモン花木和範 大阪聖三一教会(1人)

ステパノ高田須磨雄
恵我之荘聖マタイ教会(2人)

ヤコブ鈴木靖夫 アブラハム春名英夫

*東日本大震災の被災地の痛みに触れる旅「祈りと交わりの旅」(2/18~2/20)参加補助金の件 目的被災地へ

の直接支援・ボランティアは難しいが、現地を自分の目で見てみたい方々を対象に、2月の一番厳しい寒い時期（大阪教区現地担当月）に訪問する。参加者は帰阪後その現状を各教会で、報告頂き共有することを条件に経費の一部を負担することを承認。

1月23日(第3回定例)

*奥村貴允、古澤秀利、千松清美聖職候補生3名の面接を実施、執事志願書を受理。

I. 主教報告

*教区の行事・主教の年間予

定が報告された。

*聖バルナバ病院 12月の理事会において大西主教は副理事長として、設立の精神を堅持していく立場で病院に関わって行くことになった。

*大阪教区・京都教区の協働及び合併に関する検討委員会の委員（聖職2人信徒3人）が選任された。岩城聰司祭・古澤秀利聖職候補生・太田幸彦（ルシヤ）・辻彩乃（川口）

*大阪教区宣教協議会実行委員が選任された。磯晴久司祭

〔長〕・岩城聰司祭・齊藤壹司祭・原田光雄司祭・千松清美聖職候補生・井上るみこ（ス

司祭サムエル 久保 道則師が

逝去されました

久保道則司祭は1月27日（金）午後1時58分、86歳の生涯を終えられました。

通夜式は1月28日（土）午後7時より、葬送式は1月29日（日）午後2時より、ともに大阪教区主教座聖堂（川口基督教会）で執り行われました。魂の平安のため、ご遺族のために、慰め、励ましをお祈りいたします。

テパノ）豊川雅章（聖愛）宮脇博子（マルコ）成岡宏晃（ア

*任大彬司祭がカナダ聖公会ニューウエストミンスター教区バンクーバー聖十字架教会へ

出向することを認可した（2012/01/01付）。*休養中であつた趙鍾必司祭は1月より現場復帰。

II. 教務局長報告

*「納骨堂」設置状況に関する大阪府からの通達について報告があつた。

大阪府健康医療部環境衛生課生活衛生グループより「納骨堂設置には、都道府県知事の許可が必要だが、大阪府知事の許可を受けていない教会があるので、大阪府として確認する必要がある」と1/10付で連絡があつた。

III. 協議事項

*2012年度教役者、教区事務所職員給与承認申請書が提出され検討の上承認。

*納骨堂設置許可届け出手続きについて、対象となる大阪府下の教会について、状況を判断しつつ設置許可申請の手

続きを進めて行く。

*日本聖公会宣教協議会参加者を選出し、交渉に入ることとした。

*執事試験の日程について 2月28日～3月2日

祝受洗

堺聖テモテ教会

テレジア 大池 輝子

(2011年12月18日)

聖ルシヤ教会

イサク 尾崎彦四郎
リベカ 尾崎 静子

(1月8日)

祝受按

堺聖テモテ教会

テレジア 大池 輝子
ラハブ 三ツ石祐子

(2011年12月18日)

守口復活教会

マルタ 西原 知香

(1月22日)

魂の平安を祈ります

芦屋聖マルコ教会

マリヤ 朝倉 千代
(2011年10月7日・93歳)

聖ガブリエル教会

アンブロジウス・パウロ 矢田部 宏

(2011年12月16日・77歳) 聖三一教会

ハンナ 吉井 ミツ

(2011年12月29日・85歳)

堺聖テモテ教会 三ツ石光治

(1月17日・86歳)

教会・施設の動き

大阪聖ヨハネ教会

○正月恒例の聖ヨハネ学園園児招待。1月3日、教会で礼拝後、グループに分かれ、アペノ界隈の映画館で映画を鑑賞、食事をするプログラム。地下鉄の切符を買い、食事の選択（昼食、夕食の2回）、映画も子ども達の希望が優先。とまどいながら、財布と相談しながら買い物をするなど、ちよつとした冒険を楽しんだ。
富田林聖アグネス教会
○1月15日（日）、木村幸夫司祭による聖餐式後、古沢陽代さんのご厚意で、シユー

教区関係教役者
逝去者記念聖餐式

◇ 3月14日 (水) 午前 11 時

於：主教座聖堂 (川口基督教会)

説教者 ヨハネ 奥 康功司祭

- 執 事 ペテロ 井上 栄 (1966.3.1)
- 司 祭 フレッド・ケトルウェル (1952.3.3 英)
- 伝道師 南 民子 (1961.3.10)
- 司 祭 山崎 貞一 (1951.3.15)
- 宣教師 フローレンス・エリザベス・ガーディナー (1970.3.17 英)
- 宣教師 リーラ・ブール (1924.3.20 米)
- 司 祭 パウロ 安倍 騰 (1945.3.20)
- 主 教 ヒュー・ジェームズ・フォス (1932.3.21 英)
- 司 祭 オリヴァー・ヘイワード・ナイト (1969.3.22 英)
- 伝道師 ハンナ 田中 ヲハナ (1983.3.23)
- 宣教師 メアリー・ダブルデイ・ウッド (1891.3.24 英)
- 伝道師 林 歌子 (1946.3.24)
- 宣教師 ノーラ・フレデリカ・ジェニー・ボウマン (1965.3.24 英)
- 伝道師 姉川 鷺声 (1989.3.24)
- 司 祭 岸本 隆一 (1953.3.26)
- 司 祭 ステパノ 東海林 定一 (1993.3.26)
- 司 祭 伊藤 堅逸 (1967.3.28)

◇ 4月11日 (水) 午前 11 時

於：主教座聖堂 (川口基督教会)

説教者 施洗者ヨハネ 山本 眞司祭

- 執 事 中西 義之 (1909.4.1)
- 主 教 ジョン・マキム (1936.4.4 米)
- 司 祭 ジョージ・ウィリアム・ローリングス (1933.4.7 英)
- 司 祭 名出 武 (1945.4.7)
- 伝道師 織間 小太郎 (1934.4.15)
- 司 祭 ベニヤミン 池沢 駿太郎 (1956.4.15)
- 司 祭 ペテロ 藪本 竹次 (1979.4.15)
- 司 祭 ジョン・キャメロン・マクドナルド (1993.4.15 加)
- 司 祭 パウロ 藤倉 恒雄 (2001.4.17)
- 宣教師 メアリー・ジェーン・オクスラッド (1922.4.20 英)
- 司 祭 ステパノ 井上 俊一 (1983.4.20)
- 宣教師 エレノア・メアリー・フォス (2002.4.21 英)
- 司 祭 早川 喜四郎 (1943.4.23)
- 主 教 ジョン・チャールズ・マン (1967.4.28 英)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前 11 時から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

マンが妻クララに捧げたピアノ曲など数曲を演奏していただき、心温まるひとときを過ごした。
プール学院中学・高校
2月15日 (水) 高校卒業式
3月15日 (木) 中学卒業式
4月3日 (火) 中学、高校入学式。
大阪聖パウロ教会
○3Fに入居する公益社団法人日本キリスト教海外医療力会では、大阪JOC S主催で、1月28日 (土) に岩本直美バングラデシユ派遣

ワーカーによる報告会「消えることのない光」を行った。海外医療に関心のある多くの若者が教会を訪問した。参加者は40人。
大阪教区報第422号に、以下の間違いがありました。訂正してお詫びいたします。
2頁「大阪教区教区会」
5頁「古澤聖職候補生」聖婚

お詫びと訂正

1段目12行目
ともに、(誤)磯 晴久
(正)磯 晴久
新たな編集チームでスタートしてやっと1周年を迎えました。紙面刷新に向けて懇談会を行いました。一つの試みとして、見やすいユニバーサルデザイン字体に変更いたしました。少しずつ紙面の刷新を進めてまいります。
(George @ St.Paul's)

編集後記

鈴木隆太さんを囲んで
～礼拝音楽を学ぶ～

聖歌について、奏楽曲についてなど基礎から応用までを鈴木隆太さん(聖歌作曲家、横浜山手聖公会奏楽者、演奏家)と共に学びましょう。奏楽をしていない方でも教会音楽に関心のある方は是非ご参加ください。

日時：**2月26日(日) 2:00～5:00**
場所：**川口基督教会** TEL 06-6581-5061
参加費無料
講習会のあと、「夕の礼拝」を行う予定です。
主催：大阪教区宣教部礼拝・音楽委員会

大阪教区 各委員会・担当者等の構成 便覧 (2012年2月2日現在)

※便宜のための一覧表で、組織図ではなく、全体的には順不同です。

ただし、便宜上、各委員会等において、「長」以外は教役者・信徒順、五十音順。

※来る3月31日付の定年退職教役者について、委員としての任期は同日までです。

※定員の定められた委員等以外は、必要に応じ任期途中でも新たに加わることがあります。

★教区主教 主教 大西 修

★常置委員(定員 聖職3人 信徒 3人/任期1年=2012年度定期教区会まで)

- ・聖職 司祭 岩城 聰(長) 司祭 山本 眞 司祭 磯 晴久
- ・信徒 佐野信三(贖主) 長野泰信(トマス) 畑野めぐみ(マルコ)

★総会代議員(定員 聖職2人 信徒 2人/任期2年=2014年開催の定期総会公示日の前日まで)

- ・聖職 司祭 岩城 聰 司祭 山本 眞
- ・信徒 佐野信三(贖主) 長野泰信(トマス)

★会計検査委員(定員 若干名/任期1年=2012年度定期教区会まで)

江野隆夫(トマス) 佐藤正子(マルコ)

★諸委員・担当

■ 聖職試験委員会() 内は担当科目/9人)

- 司祭 山本 眞(長)〈旧約聖書〉 司祭 岩城 聰(教理) 司祭 内田 望(礼拝)
- 司祭 齊藤 壹(新約聖書) 司祭 竹林徑一(教会史) 司祭 原田光雄(宣教・牧会・法規)
- 井上美津(マタイ) 佐野信三(贖主) 猿橋 靖(マリヤ)〈説教/他の全聖職委員とともに担当)

■ 聖職養成委員会(8人)

- 司祭 磯 晴久(長) 司祭 齊藤 壹 司祭 山本 眞 井出仁雄(ペテロ) 久保義道(ミカエル)
- 米虫克次(教区事務所/聖愛) 鈴木光子(ステパノ) 長野加代子(トマス)

■ 大阪教区台湾交流委員会(7人)

- 司祭 岩城 聰(長) 司祭 竹内信義(3月31日まで) 聖職候補生 千松清美
- 池本彰男(ガブリエル) 小出裕司(アンデレ) 成岡宏晃(アンデレ) 松尾世謹(ミカエル)

■ 牧会支援委員会(7人) ※第104定期教区会(2010年11月)にて新設。

- 司祭 齊藤 壹(長) 司祭 原田光雄 司祭 山野上素充 赤山英雄(ペテロ)
- 池本真知子(ガブリエル) 井上美津(マタイ) 八木さゆり(ペテロ)

■ 東日本大震災対策本部 司祭 木村幸夫(長/3月31日まで)

■ 大阪教区宣教協議会実行委員会(10人/同協議会は7月15日~16日に開催)

- 司祭 磯 晴久(長) 司祭 岩城 聰 司祭 齊藤 壹 聖職候補生 千松清美 司祭 原田光雄
- 聖職候補生 古澤秀利 井上み子(ステパノ) 豊川雅章(聖愛) 成岡宏晃(アンデレ)
- 宮脇博子(マルコ)

■ 大阪教区・京都教区の協働及び合併に関する検討委員会(5人/2013年度定期教区会に報告)

- 司祭 岩城 聰(長) 聖職候補生 古澤秀利 太田幸彦(ルシヤ) 鈴木光子(ステパノ) 辻 彩乃(川口)
- ※京都教区にもこの委員会に対応する同様の委員会があり、会合は基本的に合同で開催される。

■ 主教座聖堂参事(4人/任期は「規則」により定めない)

- 司祭 内田 望(長) 司祭 原田光雄 井上恵美子(マリヤ) 鈴木靖夫(マタイ)

■ 教区審判廷審判員(9人/教区主教以外任期4年=2015年度定期教区会終了まで)

- 主教 大西 修(長) 司祭 内田 望 司祭 原田光雄 司祭 山本 眞 赤山英雄(ペテロ)
- 石田美郎(聖愛) 井上美津(マタイ) 佐野信三(贖主) 畑野めぐみ(マルコ) 吉岡康博(ミカエル)

■ 神学生後援会常任理事(7人/教区主教、教務局長、事務所職員以外任期3年/2013年末まで)

- 主教 大西 修(長/教区主教) 司祭 原田光雄(教務局長) 司祭 松平 功 阿部仁美(庄内)
- 太田幸彦(ルシヤ) 米虫克次(教区事務所職員/聖愛) 長野加代子(聖職養成委員/トマス)

■ 管区連携委員(管区の各担当委員会に対応する教区の担当者)

- *青年 司祭 磯 晴久 *正義と平和 司祭 鍋島守一 *人権 司祭 齊藤 壹

★諸団体

- 教区婦人会 会長 櫻井揚子(トマス) チャプレン 司祭 内田 望
 ■ 教区連合男子会 会長 伊藤良三(マルコ) チャプレン 司祭 岩城 聰
 ■ 教区GFS 代表 岡墻敬子(三一) チャプレン 司祭 原田光雄

★教務局(任期3年/2013年度定期教区会まで) 局長: 司祭 原田光雄

■ 総務部 部長: 司祭 山本眞[委員37人(延べ), 協力委員2人]

◆各委員会の構成(便宜上、教役者・信徒順、「長」以外は五十音順)

①財務委員会[長: 小池義郎(マルコ)](12人, 協力委員1人)

小池義郎(マルコ) 太田幸彦(ルシヤ) 小野 創(守口) 上甲幸子(城南) 鈴木靖夫(マタイ)
 奈良慶治良(テモテ) 服部喜代司(トマス) 〈協力委員 司祭 山野上素充〉

《管財部門》(5人)

佐野重雄(長/アンデレ) 司祭 山本 眞 宇野哲夫(アンデレ) 辻 潤(マルコ) 本井雄次(マリヤ)

※2011年度、管財の任に当たる担当委員が財務委員会内に新設された。

管財部門は、財務委員会と連携しつつ、会合は独自に開くことを基本とする。

②法制委員会[長: 司祭 山本眞](5人)

司祭 山本 眞 小出裕司(アンデレ) 春名英夫(マタイ) 馬場悦郎(パウロ) 山下幸利(三一)

③歴史編集委員会[長: 司祭 竹林徑一](7人, 協力委員1人)

司祭 竹林徑一 司祭 山本 眞 伊藤範子(ルカ) 小池宣郎(マルコ) 高木弘子(ヨハネ)
 奈良慶治良(テモテ) 真鍋倫子(城南) 〈協力委員: 西口忠(桃山学院史料室)〉

④教役者養老厚生基金委員会[長: 野知卓司(ヨハネ)](6人)

野知卓司(ヨハネ) 司祭 井上進次 井上美津(マタイ) 久保孝彦(ペテロ) 高田須磨雄(三一)
 牧口 望(トマス)

⑤広報委員会[長: 執事 林正樹](7人)

執事 林 正樹 司祭 鍋島守一 執事 田宮 紘(教区ホーム・ページ担当)
 大橋 襄(川口) 小川淳子(ヨハネ) 辻 節子(トマス) 林 義人(マリヤ)

■ 宣教部 部長: 司祭 齊藤 壹[委員36人(延べ), 協力委員9人(延べ)]

◆部会の構成(部長、各委員長、教区婦人会長、連合男子会長により構成)

司祭 齊藤 壹 司祭 磯 晴久 司祭 岩城 聰 司祭 鍋島守一
 伊藤良三(連合男子会/マルコ) 櫻井揚子(教区婦人会/トマス) 高橋明子(川口)

◆各委員会の構成(便宜上、教役者・信徒順、「長」以外は五十音順)

①社会宣教委員会[長: 司祭 鍋島守一](13人)

司祭 鍋島守一 司祭 内田 望 執事 田宮 紘 聖職候補生 古澤秀利
 尼子美喜(マリヤ) 大田美智子(マルコ) 岡部美枝(パウロ) 田中 廉(トマス) 速水健二(ルシヤ)
 牧口一(ヨハネ) 宮脇博子(マルコ) 山口善彦(三一) 山野善子(テモテ)

②礼拝・音楽委員会[長: 高橋明子](6人, 協力委員3人)

高橋明子(川口) 司祭 内田 望 小野田富美子(アンデレ)
 廣末規久子(城南) 樋口比呂美(トマス) 和田育子(マルコ)
 〈協力委員: 斎藤みち(トマス) 田中 史(川口) 辻 彩乃(川口)〉

③在日韓国・朝鮮人宣教協働委員会[長: 司祭 岩城聰](8人, 協力委員3人)

司祭 岩城 聰 司祭 チョウ・ジョンピル 聖職候補生 奥村貴充
 青柳美知子(ペテロ) 須佐美浩一(川口) 鈴木光子(ステパノ) 鈴木靖夫(マタイ) 田原敬司郎(川口)
 〈協力委員: 司祭 井上進次 浅海由利恵 呉光現(聖公会生野センター)〉

※他に交渉中の候補者がいる(後日、発表)。

④生涯学習委員会[長: 司祭 磯晴久](9人, 協力委員3人)

司祭 磯 晴久 聖職候補生 千松清美 上田結子(ガブリエル) 斎藤みち(トマス) 豊川雅章(聖愛)
 成岡宏晃(アンデレ) 錦織依子(マルコ) 本間欽吾(マリヤ) 古澤恵依子(マリヤ)
 〈協力委員: 大西温(三一) 門脇啓子(マルコ) 寺内誠(マルコ)〉